

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 手根管症候群に対する手根管開放術に滑膜切除を追加した治療成績の検討』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 整形外科 職位・氏名 教授 池上 博泰

【試料・情報の利用目的】

2000年4月1日～2023年10月31日までに東邦大学医療センター大橋病院で手根管症候群の診断で手術加療を行い術後1ヶ月以上通院が可能であった方を対象とします。

取得した試料・情報は手根管症候群における治療成績の評価をすることを目的とした研究に利用します。手根管症候群とは手首の部分で正中神経が靭帯によって圧迫され、母指から中指の痺れが出現する疾患です。以前まで靭帯を切ることによって神経の圧迫を解除する手術が行われてきましたが、滑膜という腱に付着する膜の炎症も神経の圧迫に作用していると考えられ、2015年頃より滑膜の切除も同時に行っております。本研究はその成績を評価するのが目的です。

この研究で得られる成果は、治療成績のさらなる向上につながります。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

情報: 病歴、診療の治療歴、副作用等の発生状況、個人情報 画像検査 等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024年1月より利用を開始します。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

該当せず

【試料・情報の取得方法】

対象者: 2000年4月～2023年10月までに東邦大学医療センター大橋病院

整形外科において、手根管症候群の診断で手術を施行した方で術後1ヶ月程度通院可能であった方おおよそ200名程度

方法: 診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。術後約1,3,6,12ヶ月で行った神経電動速度検査や痛みのスケール等で評価を行います。

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者: 池上博泰 役職: 教授

【利用する者の範囲】

東邦大学医療センター大橋病院

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大橋病院/整形外科 池上博泰

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2024年2月29日までに(過去に採取した既存試料を利用する場合)下記へご連絡下さい。代諾者でも可能です。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 整形外科

職位・氏名 教授 池上博泰

電話 03-3468-1251 内線 2032